



今年も頑張ります

徳島県婦人防火クラブ連合会会長 村崎 弘子

新春を告げる風物詩として、各地で恒例行事の出初式が行われています。

遠く江戸時代に、俗に振袖火事と言われている大火の折、時の老中が火消組を率いて、1月4日に上野東照宮前で出初を行い、氣勢を上げて江戸市民に希望と勇気を蘇らせたそうです。これを契機に、以後1月4日に出初が行われるようになったと聞いております。

徳島市でも1月5日に、アスティとくしまで、関係団体、一般市民が一堂に会し出初式が行われました。式典に続いて参加団体の各々の演技、一般市民参加の競技が、屋外では観閲行進、祝賀飛行、祝賀放水が行われました。

婦人防火クラブは昨年まで毎年「防火クラブ音頭」を踊っていましたが、今年は「ひまわりしているか」を初披露し、火の用心を呼びかけました。昔ながらの樽回しを行っているのが、四国のヘソと言われている県西部の池田町出初式です。

2個の酒樽を縄で縛り合い、樽を中心に両方から放水します。水の勢いで樽はぐるぐる回り出し、やがて地上に浮き上がります。1月の身を切るような寒さの中、水浸しになりながらの勇壮なもので、池田の樽回しとして今に受け継がれています。

こうして各地で行われている出初式によって、人々は今年1年の無事を祈り、火の用心の大切さを再認識したことでしょう。

科学の発達に伴い、消防機器、消防技術の向上はめざましいものがあります。しかし火災事故の原因は唯一つ、ほとんどが基本を忘れた不注意なのです。

火の元の指差し点検、自分の目で確かめることが大切です。私どもクラブ員、火の用心を再度再度呼びかけ、防火推進に努力することを、年の初めに誓い合いました。

目次

[「自治体消防55周年記念事業」の基本構想が決定](#)

[2 幼・少年消防クラブ、婦人防火クラブ等の実態調査の状況](#)

[3 道府県婦人防火クラブ連絡協議会会長だより](#)

[4 地方からの便り](#)

[5 あなたも危険物取扱者・消防設備士に](#)

[6 婦人消防隊員等福祉共済](#)

[7 日本防火協会からのお知らせ](#)